おかがき　ふれあいネットワーク

社協だより

平成29年 7月号 No.172

みんな、いい笑顔！

東山田区ふれあいサロン

子ども会と高齢者の合同ふれあいサロン。遠慮がちだったお母さんたちも加わって、３世代での軽スポーツ大会に！楽しい時間には、年齢なんて関係なし。みんなが主役でみんながチームメイトです！あなたの自治区でもサロンで世代間交流しませんか？

社会福祉協議会 新体制決定

社会福祉法の改正にともなう役員および評議員の改選が行われ、会長に山田敬二氏をはじめ、次の方々が選任されました。

山田　敬二
（学識経験者）

【会長】
山田　敬二（学識経験者）

【副会長】
平竹裕司（民生児童委員協議会）

【常務理事】
高橋賢志（学識経験者）

【理事】
橋村　魁（区長会）
早苗泰博（商工会）
花田利生（福祉施設）
佐々木征子（ボランティア団体）
来田　理（行政機関）
上田一勇（身障会）
占部義和（教育委員会）

【監事】
倉地和敏
魚澄ミネ子

【評議員】
石田隆男（区長会）
佐藤三郎（商工会）
吉田春枝（婦人会）
中山浅美（民生児童委員協議会）
濵　美穂（福祉施設）
刀根秀視（保健医療関係者）
髙村三枝子（ボランティア団体）
吉村小百合（行政機関）
小野幸代（保護司）
陰山　博（寿会連合会）
横山貴子（母子会）
廣渡嘉之（身障会）
小松紀彦（手をつなぐ親の会）
初田信雄（精神障害者の会）
西　美千代（議会）
吉田和彦（教育委員会）
西　秀樹（学校）
波田幸正（学識経験者）
尾崎順子（学識経験者）

【任期】

理事・監事
平成29年6月21日～平成30年会計年度に関する定時評議員会の終結の時（平成31年6月）

評議員
平成29年4月1日～平成32年会計年度に関する定時評議員会の終結の時（平成33年6月）

■■■役割と責任■■■

社会福祉法の改正により、各機関の役割や責任が明記され、互いにけん制機能が働く仕組みの強化に努めます。

①会長は、法人を代表し、業務の執行を行う
②理事会は、法人の業務執行の決定、理事の職務執行の監督、会長の選定・解職を行う
③評議員会は必置とし、議決機関として位置づける（定款の変更、理事等の選任・解任、役員の報酬の決定等の決議事項を法定）

増改築・リフォーム
介護保険住宅改修の事なら
地域に密着！シンコウ住宅にお任せ下さい！
貴方の夢を形に造る
夢創造社 シンコウ住宅
TEL&FAX. 093-283-0892（おやくにたちます）
〒811-4204　福岡県遠賀郡岡垣町大字手野 894-2

社会福祉法人　日本傷痍者更生会
介護老人保健施設　岡垣町中央台3-22-1
更生会にじの郷
通所リハビリテーション
更生会にじの郷
グループホーム
更生会にじの郷 ☎283-3484
小規模保育所（事業所内保育所兼）
ひよこ保育園 ☎282-0145
関連施設
児童養護施設　報恩母の家
岡垣町海老津3-8-1 ☎282-0001
障害者支援施設　希望舎
岡垣町海老津3-2-10 ☎282-0223
児童自立援助ホーム　びわの木
岡垣町海老津駅前1242-1 ☎282-1155
パン工房・カフェ ふれ愛
岡垣町野間南4-7 ☎281-5535
更生会ふれ愛の郷
児童発達支援センター　くすのき
放課後等デイサービス　ふれ愛
デイサービス　ふれ愛
ショートステイ　ふれ愛
岡垣町野間南4-7 ☎281-5510
特別養護老人ホーム　恵の家 ☎282-0021　岡垣町高倉578-1

平成28年度 事業報告・決算報告

平成28年度の事業および決算について報告します。社会福祉協議会事業へのご協力、ありがとうございました。

事業報告

岡垣町民でつくる福祉のまちをめざして

ひとづくり

福祉教育の充実

◆福祉体験講座（小中学校４校：７回）･･･ 779 人(延)
◆認知症サポーター養成講座（中学校１校：２回）
･････････････ 146 人

地域人材の育成

◆いこいの里福祉大学院（全３講座）･････ 216 人(延)

ボランティア活動の推進

◆ボラ協だよりの発行（８回:全戸配布）･･110,400 部
◆ボランティア育成・支援事業補助金交付･･･ 18 団体

地域づくり

セーフティネットの推進・支援

◆お互いさま命のネットワーク活動助成金交付
････････････ 52 自治区
◆合同シンポジウム「きんしゃい！岡垣井戸端会議」
････････････････ 304 人
◆ご近所助け合いモデル事業･････････････ 10 自治区

ふれあい交流活動の促進・支援

◆ふれあいサロン活動助成事業･････････････ 43 地区
◆ひとり暮らし高齢者のつどい（２回）･･････ 295 人

環境づくり

総合的な福祉相談支援体制の整備

◆心配ごと相談･････････････････････････ １件
◆法律相談･････････････････････････ 79 件
◆総合福祉相談窓口･････････････････････ ５件

在宅福祉サービス事業の充実

◆訪問介護事業・居宅介護支援事業････ 2,908 人(延)
◆送迎サービス事業･････････････････ 523 人(延)
◆配食サービス事業（256 日）････････････ 26,373 食
◆日常生活自立支援事業（県社協受託事業）
･････････ 契約者 10 人

広報・啓発活動の充実

◆社協だより発行（８回：全戸配布）･････110,400 部

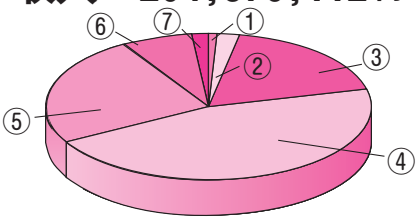
支援体制づくり

信頼される社会福祉協議会づくり

◆共同募金実績･････････････････････ 5,687,176 円
◆いこいの里受託管理運営･････････････108,843 人(延)

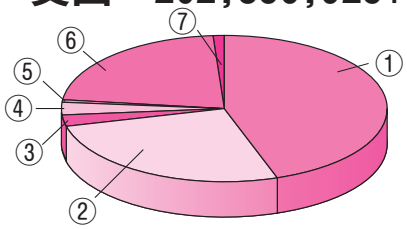
決算報告

収入　204,376,112 円



①	寄附金収入	2,066,454円
②	共同募金配分金収入	4,347,659円
③	補助金収入	41,541,495円
④	受託金収入	88,912,442円
⑤	介護保険等事業収入	51,021,221円
⑥	その他の収入	14,713,597円
⑦	収益事業収入	1,773,244円
	計	204,376,112円

支出　202,836,925 円



①	受託事業	90,453,213円
②	介護保険等事業	51,178,932円
③	共同募金配分金事業	4,347,659円
④	ボランティアセンター運営事業	4,769,219円
⑤	在宅福祉サービス事業	1,417,468円
⑥	法人運営事業	48,658,750円
⑦	収益事業	2,011,684円
	計	202,836,925円

次年度繰越金　1,539,187 円

「見守り活動」があったから…

―事例から学ぶ【お互いさま命のネットワーク活動】とは―

自宅を訪ねたが応答がなく、電話をかけても出ないため、安否を確認することができない。もしかしたら、緊急事態かもしれない。そんな時、あなたならどうする？

様子がおかしいのですが…

ある日の夕方、民生委員さんが社協窓口に訪ねてこられました。自宅を訪問したが応答がなく、全ての入口に鍵がかかっているのにトイレの電気だけはついている。日頃使っている車や自転車もあり、電話をかけてみても出る気配がない。室内で倒れているのでは…。

相談を受け、まずは自治区長へ情報を共有するため連絡をしたうえで役場へ連絡し、介護サービス等の利用の有無を確認しました。サービスを利用していれば、ケアマネジャーや施設等に本人の状況を確認するという選択肢が広がるのですが、サービスは利用しておらず、現場へ向かいました。

何事もないことを願いながら

現場に着き、あらゆる扉や窓から大きな声で呼びかけましたが応答がありません。ご近所に聞いても変わった様子はなく、特に連絡も受けていないとのこと。その時、民生委員が本人の妻が入院していることを思い出し、病院へ問い合わせると、お見舞いには来ていないとのことだったため、家族への連絡をお願いしました。

家族からの電話。結果は…

本人は、県外の息子さん宅にいました。ＪＲを利用するため、駅まではタクシーで行き、自宅トイレの電気は消し忘れだったのです。家族は、謝るだけでなく「離れて暮らす父を見守ってくださる方がいることが心強く、心から感謝しています」と話され、本人は「家を空ける時は、誰かに一声かける」と約束しました。その話を聞いた民生委員や自治区長の安堵の表情が今でも忘れられません。

地域での助け合いや支え合いは、見守り協力機関である事業所や行政・社協も含め、住民同士の日常の挨拶や声かけ、見守り活動で培った関係が基盤となっています。

【連絡からの経過】

16:45　民生委員が社協窓口へ
- 応答がない
- トイレの電気だけがついている
- 車や自転車はある
- 鍵は全て施錠

16:55　自治区長へ連絡

17:00　社協から町へ連絡
- 介護保険サービス等の利用なし

17:20　町・社協が現場へ到着
- 自治区長、民生委員と現場で合流

17:30　妻の入院先へ連絡
- 見舞いに来ていない

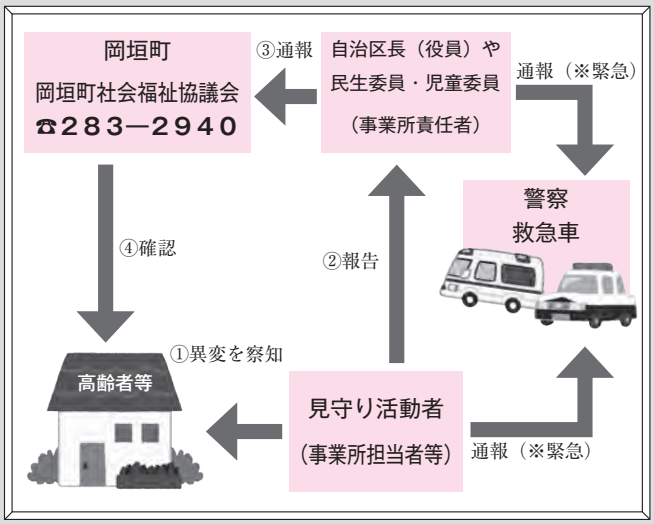
17:45　病院から連絡
- 息子宅（県外）へ行っているかもしれない
- 病院から家族へ連絡

18:05　無事を確認
- 家族から連絡あり
- 息子宅へ行っていた

18:15　関係者へお礼・報告

「何かおかしい」そんな時は…

安否確認ができない、異変が疑われる。そんな時は、町や社会福祉協議会に連絡して下さい。緊急を要する場合は、警察や消防等の機関に通報し、到着を待つ間に町や社会福祉協議会へ連絡しましょう。



5/27・7/8

話し合いの場・ニュース

vol.1

岡垣町イメージキャラクター
♥ひわりん＆ひわすけ★

地域での助け合いや支え合いについて、自由に意見を交換しながらアイデアを出し合って、それらを具体的に実現する。みんなで考え、みんなでつくり、みんながつながる地域づくりが始まっています。

今後のおおまかな流れ

まずは集まって
みんなで話そう！

町や地域の
課題・現状は？
今から何が必要？

こんなことやりたい！

やりたいことで
グループをつくろう！

やりたいことの企画

・目的は？
・対象は？
・場所は？など

やってみよう！
やりたいことの実践

第１回【５月 27 日／いこいの里】

48 名（地域住民 26 名、民生委員・児童委員９名、事業所等 13 名）の参加のもと、それぞれの立場から見える現状を出しあい「今取り組むべきと感じること」をチェックしていくと、上位３つは『**ちょっとした手助け**』、『**子育て応援**』、『**話し合いの場**』という結果となりました。

１位の『ちょっとした手助け』は、できているという認識が高い中で選ばれており、“**できていることをさらに伸ばす**”という意識が表れています。しかし、内容は幅広く、なぜできていると感じたのか、できていない部分は…とさらに細かく見ていくことが、今後の取り組みのためのヒントになりそうです。反対に、２位の『子育て応援』や３位の『話し合いの場』については、“**できていないことをどうすべきか**”という意識があると言えます。

第２回【７月８日／中央公民館】

第１回の参加を上回る 70 名の参加のもと、前回出された意見をふり返った後に『ちょっとした手助け』についての話を深め、参加者が現状として把握している項目や圏域について意見を出し合いました。

主に出てきた項目としては、『ゴミ出し』や『おすそわけ』、『買い物』や『見守り』、『サロン活動』などがあり、そのほとんどが住民のみなさんにとって身近な“ご近所”や“自治区”の範囲で行われていることがわかりました。まずは、今ある取り組みがどこでどんな内容で行われているかを把握することで、これから新たな助け合いにどう取り組むべきかの重要なヒントになるはずです。今地域にあるものをどう活かすか、足りないものをどう生み出すか、議論が白熱しました。

次回案内

日時　９月２日（土）
　　９：30~12：00
会場　いこいの里

岡垣町在住・在勤の方であれば、どなたでも参加できます。

おしらせ

社会福祉協議会
☎283-2940

相談

◆法律相談◆
とき　8月4・25日（金）
　　9月8日（金）
　　午後1時30分～4時30分
　　（1人30分・1日6組まで）
ところ　いこいの里
対象者　町内在住の方
※予約制。相談月の前月から受け付けします。お早めに社会福祉協議会へお申し込みください。

◆心配ごと相談◆
とき　8月18日（金）
　　9月15日（金）
　　午後2時～4時
ところ　東部公民館
対象者　町内在住の方
※事前予約は不要です。

◆総合福祉相談窓口◆
とき　8月8・22日（火）
　　9月12・26日（火）
　　午前10時～正午
ところ　いこいの里
対象者　町内在住の方
※事前予約は不要です。電話での相談は、休館日（第1日曜日と毎週月曜日）を除き、午前8時30分から午後5時15分まで随時受け付けています。

障がい者納涼夏まつり

町内在住の障がい者と福祉ボランティアのふれあい交流を目的に、盆踊りや楽しいイベントを交えた「納涼夏まつり」を開催します。

とき　8月26日（土）
　　午後5時から
ところ　すぱーく岡垣
　　（いこいの里）

対象者　町内在住の障がい者と福祉ボランティアおよび家族
申込み　障がい者団体に加入していない人は、8月12日（土）までに社会福祉協議会へ

香典返し寄附

次の皆様から香典返しとしてご寄附がありました。厚くお礼を申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。
（5・6月受付分まで）

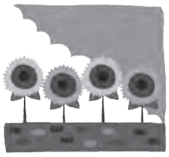
社会福祉協議会へ
○宮内　京子　様（内浦）
　故　宮内　康之　様　92歳
○早川　房一　様（高倉）
　故　早川　明　様　65歳
○川中　敏博　様
　眞知子　様（松ヶ台東）
　故　澤　琴　様　95歳
○中村　旺世　様（南山田）
　故　中村　英子　様　83歳
○安部　公子　様（吉木）
　故　長畑田鶴子　様　97歳
○筒井　操　様（高倉）
　故　筒井　正久　様　95歳
○竹岡　綴子　様（南山田）
　故　竹岡　和巳　様　75歳
○川上　勉　様（戸切百合野）
　故　川上　春雄　様　86歳
○早川　義光　様（高倉）
　故　早川ハル子　様　87歳
○江藤ツルヱ　様（緑ヶ丘）
　故　江藤長三郎　様　98歳
○立野　重記　様（東山田）
　故　立野マサヨ　様　73歳
○来田　文子　様（吉木）
　故　来田　忠義　様　88歳

寿会連合会へ
○立野　重記　様

一般寄附
○永渕アツ子　様
○岡垣町民チャリティゴルフ大会
　実行委員会　様
○楽陶会　様

ありがとうございました
車いす3台

株式会社 溝口産業 様



やってみようよ！

ボランティア

岡垣ボラ協だより

152号

※ ボラ協とは「ボランティア連絡協議会」の略称です。

編集委員の佐々木です。
７月19日には、ボラ協に所属している７団体の会員が集まり、交流グラウンドゴルフ大会を行いました。
結果はそれぞれ…だったと思いますが、団体の垣根を越えて交流し、親睦を深めることができました。
熱い中参加したみなさんお疲れさまでした！

世代を越えて交流を深めよう
―ボラ協第23回総会終える―

5月24日に、第23回の総会を開催し、ボラ協に所属する7団体が集結しました。

今年は議長を努めさせていただきましたが、あらためて各会の献身的な活動には感銘を受けました。ボランティアの中には、私の祖父母と同世代も多くおられますが、その行動力は私たち若い世代以上であり、勉強になっています。

私自身も思い返せば、先輩や友人に誘われ、余暇や消防署の勤務明けの時間を利用して活動に参加するようになりました。

高齢化が進むにつれて会員の確保などに苦慮されている会もあるとのことですが、そんな時こそボラ協のヨコのつながりが大切であり、私たち若い世代が少しでも力になれたらと思っています。

（ファイヤーマンズクラブ：川﨑）

この会にこの人あり

「目標は、90歳まで続けること」

あみものの会　時永 悦子さん（高塚区 /85歳）

コミュニティバスを降りると、大きな荷物をもって、ゆっくり歩みを進める。いつも笑顔の時永さんは、御年85歳。活動を続けられるのは、３つの楽しみのおかげと教えてくれました。

1．人の会話を聞くことが楽しみ
2．作品が出来上がることが楽しみ
3．週１回参加できる場があることが楽しみ

家族も協力的で、いつも快く送り出してくれることが活動の支えになっているそうです。現在は療養中ですが、「リハビリが終わったら元気に参加します！」と笑顔で語っていた時永さん。みんなが目標達成を願っています。

あたたかい手作り作品

あみものの会
活動日 / 毎週土曜日　**会員数 /** １３人
内容 / 趣味を活かした作品制作、高齢者等へ寄贈

次号は**「ファイヤーマンズクラブ」**を紹介します。お楽しみに。

“つくる楽しさ”が隠し味

平成29年度「男性料理教室」参加者募集

と　き　10月12日、19日、26日
※すべて木曜日、午前10時～午後1時
ところ　いこいの里 調理研修室
対象者　町内在住の60歳以上の男性
参加費　1回300円
準備物　エプロン、三角巾、筆記用具
定　員　20人
締切り　9月21日（木）までに社会福祉協議会へ

食生活改善推進会の協力により、初心者にも配慮した心も体も元気になれる講座です。定員以上の応募があった場合は、**初参加の方を優先**します。

カタチに残る思い出を！

「こども手作り教室」参加者募集

と　き　7月27日、8月3日・17日・24日
※すべて木曜日、午前10時～午後3時
ところ　いこいの里 おもちゃ図書館
対象者　小学生　　**参加費**　無料
準備物　必要な材料や型紙を各自持参

申込み不要

布のおもちゃや絵本を数多く作成する「たんぽぽの会」のボランティアが、初心者の子どもたちにもわかりやすく丁寧にお手伝いします。

編集後記

今月、福岡・大分を襲った記録的な豪雨では、家屋の損壊や死傷者が出るなど被害が相次ぎ、あらためて災害の怖さを実感されたのではないかと思います。

「いつ起こるかわからない。だからこそ備えが必要」そういう意味では、福祉も防災も似ている部分があるのではないでしょうか。

日頃から、隣近所と挨拶を交わすことや、声をかけ合うこと。困った時は、手をさしのべ合うこと。

私たちの暮らしの根底を支えているのは、そんな些細に感じることの積み重ねですね。

（田之上）

好評開催中 終活セミナー

ずっと安心プラン事業

と　き　8月17日（木）、9月21日（木）
午後1時30分～3時30分
※終了後、個別相談会を実施します
ところ　いこいの里 ふれあい館 研修室2
参加費　無料（テキスト代1,000円）
申込み　各回の1週間前までに社会福祉協議会へ

発行者／岡垣町社会福祉協議会　☎093－283－2940
岡垣町大字高倉598－1

この「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。